

〜〜多摩川を歩く⑩〜〜

日時:2018年7月21日(土) 天候:晴れ後曇り→雷雨→曇り 18000歩 約13km

集合:青梅線奥多摩駅 10時30分(11時発のバスに乗車)

コース:奥多摩駅(バス)→峰谷橋→小河内神社→留浦→所畑→お祭→丹波(バス)→奥多摩駅

参加者:熊坂(L) 河野(SL) 勅使河原 平石 高橋文 伊藤眞 青松秀 山内 清水正 長井 宮野 小島 落合 市村
中村ゆ 志村 畠 岩元 鈴木孝 計19名

丹波山村は“雷神の住み家”だった！？ 東京都から県境を越え山梨県に入った途端、怪しげな雲が広がり、小粒の雨はやがて雷を伴った豪雨に。傘やカッパは持っていたものの上から下まで濡れ鼠。ただこのお蔭で気温が下がり、涼しい思いが出来たことは雷様に感謝！/今回は奥多摩駅から前回のゴール、峰谷橋停までバスで移動。バス停前の駐車場にある東屋でランチタイム。赤い色が湖面に映える峰谷橋を渡りスタートを切ります。本日のコースはひたすら青梅街道に沿って歩くという迷いようがないルート。ただすでに気温が30度をゆうに越えていそうなのが気掛かりです。途中目に入る奥多摩湖の湖面も熱中症気味(?)か何となく色が冴えません。先の留浦(とずら)の浮橋で休憩、前回麦山の浮橋を体験できなかった人にサービス！この先は丹波川となる流れは遥か下になり、ここから青梅街道も徐々に標高を上げていくことに。その後突然の雷雨にあったが、雨が上がりゴールの「道の駅たばやま」に着く頃には、靴の中はまだ濡れているものの服はほぼ乾き助かりました。この道の駅の名物は、鹿バーガーとソフトクリーム。中でも桃ソフトはお勧めで、女性陣は早速お買い求め。雷雨に打たれ疲れた身体には最高のご褒美！バスの時間が迫っていたので30分程で休憩を終え、KWC貸切り状態で奥多摩駅に向かいました。暑さと雷雨の一日、ハプニングもまた一興でした！

<フォトレポート 小島>



青梅街道「深山橋」の袂で。その先には奥多摩周遊道路の入り口「三頭橋」が見えます。



もうお馴染み奥多摩駅。駅横の1番停は日原方面行。



11時発の丹波山行を待ちます。すでに強い日差しが！



あれ、中東系の方でしょうか？



バス移動は楽ちん。



峰谷橋停で我々19人が降りると車内はガラガラに。



バス停前の駐車場にある東屋でランチタイム。時間と場所を考えてここでの食事となりました。





食後は熊坂しから本日のコース説明。



日差しを避けて狭い東屋内でのストレッチ！



熱中症対策でリーダーから日傘OKの許可が。



トンネル内は涼しいが車には要注意です！



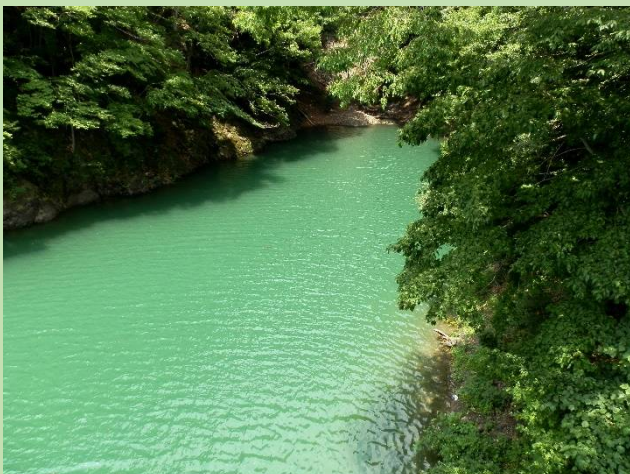
トンネルを抜けるとまた熱気が。



カーブミラーの中も暑そう！



麦山橋を渡り足取りも軽く。



木々の緑を写すエメラルドグリーンの湖面。



街道沿いは日陰が少なくここは貴重な場所です。



集合写真を撮った緑色の深山橋。



竹の花トンネル抜けて・・・



振り返ると深山橋が見えました。



街道沿いには風雨に晒された阿弥陀仏群も。



ノウゼンカズラの花言葉は「名声」「名誉」だとか。



奥多摩湖に架かる留浦（とすら）の浮橋へ。



時間がないので初めて歩く人は早く戻って来て～！



丹波山村。ここからは山梨県となる。



青梅街道に沿って丹波の集落が点在します。



鴨沢集落には風情あるこんな旅籠(?)も。



ここは雲取山への登山口の一つでもあります。



この道はライダーの聖地か？



バスの折り返し場で小休止。



水分と塩分&糖分の補給が大切。



丹波川への流れ込み合流点。水は澄んでいます。



ここで突然の雨と風。空には怪しげな黒雲が・・・



雷雨となり道路には大量の雨水が流れています。



霧が立ち込めさらに風雨が強まって来た！



雷と豪雨を避け一時避難。1ブロックに一人ずつ？



この雷雨、ゴール地点まで続くのか・・・早く止んで！



すでに靴の中はぐっしょり。でも泥じゃないので・・・



もうこうなっては、なるようになれ！ヤケクソだ～



トンネル内には雨宿りのライダーの姿も。



どうやら大雨の峠は越えたようです。



気温が23度まで下がった！涼しい。



遅れ気味の人もこれでほっと一息。



雨も上がり集落の姿が見えてきました。



ここで最後の休憩。さあ、もうすぐですよ～



先ほどの雷雨も忘れて足取りも軽やかに。



山の上に城？ 丹波山村には城跡はなかったはず・・・



ゴールの「道の駅たばやま」に到着です。



ここで帰りのバスの時間まで休憩。



名物の「鹿ばあーがー」ってどんな味？



こちらは大人気の桃ソフト。旨し！



集まった人だけで撮った集合写真。「のめこい湯」が入らなかった！（ノボリだけ）



湯は吊り橋を渡った茶色の建物。

この湯船でしっぽりと・・・いや単なる妄想です！

※「のめこい」とは丹波山村の方言で、「つるつる、すべる」という意味。名前のおと、湯上り後は肌がつるつるになるそうです。泉質は単純硫黄泉で、ほのかに硫黄の臭いがあるお湯。神経痛や筋肉痛、冷え性や疲労回復にも効果があるPH9.8のアルカリ泉で、泉温は41.7度。入浴料=900円 毎木曜日定休。（以上無料PRでした）

●なお「のめこい湯」の裏山にある天守風の建物ですが、ふるさと再生事業（地方自治体に一億円を配った）の一環として平成2年に作られた、当時は日本一の全長247m、高低差42mのローラー滑り台で、滑り台上の出発点には丹波山城（展望台）が建てられた。しかし完成後僅か3日で日本平動物園ローラースライダーに抜かれ現在は4位の座に陥落、まさに明智光秀の“3日天下”と同じ結果となった。 ※この場所に歴史上の城はありませんでした！



青梅街道には数少ない貴重なスタンドの一つです。



バスを待つ間、Lは最終回の“勧誘”に大忙し！



来たバスには先客一人。KWCの貸切り状態です。



奥多摩駅に到着。皆さんお疲れ様でした～

END